

第22回 IHE ワークショップ in 東京

主催: 日本 IHE 協会 普及推進委員会

共催: 日本 PACS 研究会 医用画像電子化研究会

日時: 2010年6月5日(土) 13:00~18:00

場所: 慶應義塾大学医学部東校舎 講堂(JR信濃町下車 徒歩7分 医学部キャンパス内)

<http://www.keio.ac.jp/ja/access/shinanomachi.html> (17番の建物)

参加費: 当日、会場にて受付けます。 **3,000円**(資料代: スライド資料、DVD、パンフレットなど、資料満載)

※日本 PACS 研究会の会員(<http://www.jpacs.jp> 参照)は、**2,000円**(JPACS が1,000円補助)

席に限りがありますので、定員になりましたら締切ります。参加希望の方は、事前登録をお薦めします。

(<http://www.e-rad.jp/xoops/modules/eguide/event.php?eid=36>)

- 医療情報技師更新ポイント: 3点
- 放射線科専門医更新ポイント: 申請中

日本 IHE 協会が行っている IHE Workshop も今回で22回となりました。場所は、東京とし、多くの方が参加できるようにしました。初級編とし、易しく IHE を解説します。特に今回は、初心に戻り、IHE活動とは何かを理解できるように、プログラムを作成しました。恥しくて人に聞けないような基本的な事を教えます。この勉強会に参加して、いっばしのIHE解説者になりましょう。

■ 勉強会プログラム (演者・タイトルは、都合により変更になる可能性があります)

1. そもそもなぜIHE活動がはじまったか? DICOM や HL7 規格の不備 中島 隆(富士フイルム)
2. IHE活動の目指すもの その理念 安藤 裕(放射線医学総合研究所)
3. IHEの星取り表は、なぜ分かりづらいのか、マトリックスで分かりやすくするには 向井 まさみ(放射線医学総合研究所)
4. IHEの2大活動とは? テクニカルフレームワークの作成とコネクタソン 下邨 雅一(富士通)
5. ユーザーにとって、最低限知っておかなければいけないIHEの知識
アクター、トランザクションとテクニカルフレームワーク 細羽 実(京都医療科学技術大学)
6. IHE を利用したシステム構築の実際 ~放射線領域を IHE で導入する場合を例にあげて~
田 恵雄(埼玉医科大学)
7. IHEを用いて情報システムを導入した経験
 - ・青梅市立総合病院 石北 正則(青梅市立総合病院)
 - ・放射線医学総合研究所病院における検査システム 清水一範(放射線医学総合研究所)
 - ・IHE によるシステム構築と更新について 松田 恵雄(埼玉医科大学)
8. IHEに期待すること
 - ・医療情報化政策における IHE の位置づけ 中安 一幸(東北大学)
 - ・放射線治療分野から見た IHE 活動 川口 修(慶應大学)